

経済の視点から現代社会の授業をつくる

◇今回の提案における重点ポイント

①現代社会単元を既習の地理・歴史と政治・経済をつなぐ重要な学びとする工夫

⇒学習指導要領の記述にある社会的事象の地理的な見方・考え方や社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせる場面をもった単元構成、及びその後の政治・経済・国際関係の単元への接続も意識する重要な単元と位置付ける。その工夫として、それぞれの視点でもって追究活動を行う調べ学習を取り入れた。ジグソー学習としての側面が大きい、「日本の未来社会のイメージ」をテーマに行うことで現代社会の特色の学びとこれからの展望を意識できる機会となった。

②調べ学習を焦点化させるための自作HPの活用

⇒本実践の目玉は①の調べ学習と考えているが、自由に調べさせるよりはある程度学習内容を焦点化させるための資料をこちらから指定し、その内容を理解したのちにインターネットの情報の海へ出発し、関連資料を手に入れた方が学びは深いものになると考えている。そのために中心資料をいつでも確認できる自作HPを作成した。 ⇒⇒⇒ HPのリンク ⇒⇒⇒



③2025年大阪万博を教材として取扱う魅力と切実性

⇒大阪万博は参加者一人ひとりに対し、自らにとって「幸福な生き方とは何か」を正面から問う初めての万博であると大阪市のHPで表明している。まさしく社会科が教科全体を通して追いたい「よりよい社会」と同義であると捉えている。単元の最初に大阪万博が目指しているコンセプトの学びを位置づけることにより、公的民的分野のスタートとなる現代社会単元がより切実性をもった学びへ変容することになると考えている。

④AI（人工知能）を重点的に取り扱う意義と経済に与える影響

⇒「AIの発達私たちの社会や生活にどのような大きな変化を起こすのか」ということを探ることにより、現代社会が進んでいくであろうこれからの未来社会の姿が浮き彫りになると考えている。本実践では主に「経済の見方・考え方」を働かせて日本の未来社会についての調べ学習を行ったグループの記述内容からAIが経済に与える影響を意識することができる段階に達しているか探りたい。

提案者：埼玉県春日部市立武里中学校 教諭 小谷 勇人

第3学年5組社会科（公民的分野）学習指導案

令和5年7月14日（金）

第2校時 3年5組34名

指導者 教諭 小谷 勇人

1. 単元名 A 私たちと現代社会 (1) 私たちが生きる現代社会 【公民的分野】
+ C 近現代の日本と世界 (2) 現代の日本と世界 【歴史的分野】

2. 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領において以下のように位置づけられている。

(1) 私たちが生きる現代社会と文化の特色

位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 現代社会の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解すること。 ※(イ)は省略

イ 次のような思考力、判断力、表現力を身に付けること。

(ア) 少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、**経済**、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現すること。 ※(イ)は省略

この中項目は、「現代社会の日本にはどのような特色がみられるか」といった現代日本の特色に関する適切な問いを設け、それらの課題を追究したり解決したりする活動を通して、これから始まる公民的分野の学習で扱う現代の社会的事象について関心を高め、課題を意欲的に追究する態度を養うことを主なねらいとしている。学習時期は地理的分野と歴史的分野が終了し、公民的分野にスムーズに接続するための重要な単元となっている。学習指導要領の記述にあるように「位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して…」という社会的事象の地理的な見方・考え方や社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせる場面をもった単元構成としたい。また、同じく学習指導要領の記述にあるように、その後の政治・経済・国際関係の単元への接続も意識すべき重要な単元でもある。

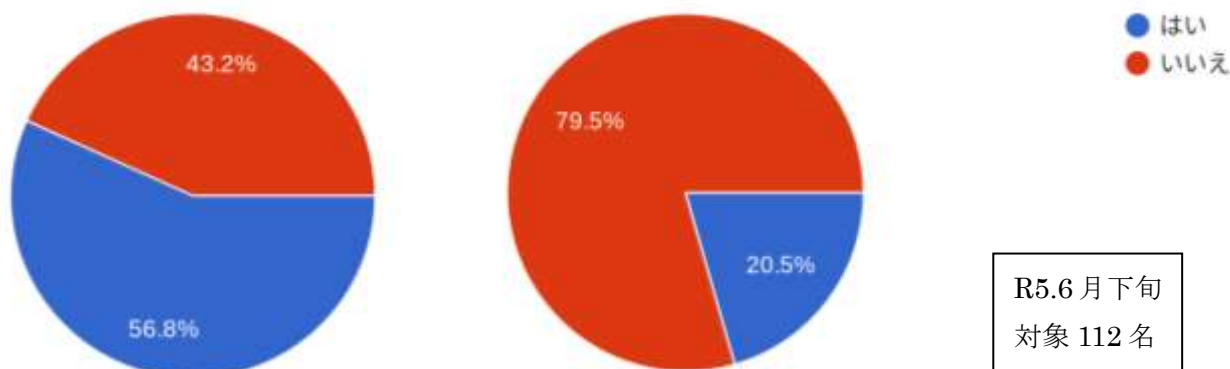
一方で、その重要性を意図しない単元構成であると「少子高齢化」「情報化」「グローバル化」の知識をぶつ切りで学んで終わってしまう授業が展開されやすいのではと考えている。それぞれの現代社会の特色が有機的に結びつくような「適切な問い」で単元構成を行う必要がある。そこで、単元の導入では2025年に行われる大阪万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を提示し、単元を貫く課題を「すべての人々にとっていのち輝く未来の日本はどのような社会であるべきか」とする。単元の最後には論述する時間を取り、公民的分野の最後の学習を終えた時点でもう一度論述することも考えている。

なお、本実践は2023年の夏休み経済教室での発表を意識して、この単元構成の中で経済の視点を色濃く反映させた資料となっている。実際の授業全体は上記のような構成で進んでいることを補足しておく。

(2) 生徒の実態～アンケート結果から～

①Q・自分の国に解決したい社会課題がある

②Q・自分で国や社会は変えられると思う



日本財団「18歳意識調査」第20回 テーマ：「国や社会に対する意識」(9カ国調査)の中から2つの質問を本校の3学年対象に行った。公民的分野のスタートに上記の生徒の実態をつかみ、公民的分野全体の学習を通して生徒の良い変容を適宜教師がつかんでいくことにより、「よりよい社会の形成者」の実現に近づくものと考えている。2019年時点の調査では①をはいと答えた人が46.4%、②をはいと答えた人が18.3%という実態であった。本校の実態もはいと答える生徒が少々多いが似たような実態であった。現代社会の単元では日本の特色を見出すことに力を入れていくが、2025年大阪万博は「Society5.0 未来の実験型会場」を目指しているため魅力的な教材となると考えている。現代社会の学習を通して生徒の変容を最終的につかむことで、より良い変容があったことを分析したい。特に②をよりよく変化させていくことが公民的分野の使命と考えている。

(3) 指導観

①2025年大阪万博を教材として取扱うことについて

2年後の2025年4月13日～10月13日にかけて大阪で万国博覧会が開かれる。(今後は万博で表記)歴史的分野での既習事項として、万博は最先端の科学技術を取扱い、この先の未来を感じさせる国際的なイベントである。つまり、大阪万博が目指しているものを学ぶことは「日本の未来社会」を直接イメージすることにつながると考えている。なお、今回の大阪万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」である。大阪市のHPでは万博テーマの説明として、人間一人ひとりが、自らの望む生き方を考え、それぞれの可能性を最大限に発揮できるようにするとともに、こうした生き方を支える持続可能な社会を国際社会が共創していくことを推し進めるものであり、格差や対立の拡大といった新たな社会課題や、AIやバイオテクノロジー等の科学技術の発展、その結果としての長寿命化といった変化に直面する中で、参加者一人ひとりに対し、自らにとって「幸福な生き方とは何か」を正面から問う初めての万博であるとしている。まさしく社会科が教科全体を通して追い求めたい「よりよい社会」と同義であると捉えている。単元の最初に大阪万博が目指しているコンセプトの学びを位置づけることにより、公民的分野のスタートとなる現代社会単元がより切実性をもった学びへ変容することになると考えている。

②公民的分野と歴史的分野を融合した単元構成について

現在の学習指導要領では中学3年次に歴史的分野から公民的分野へと切り替わるようになっているが、常々その切り替わりがうまく連動するものになっていないのではないかと考えていた。どうしても現代の歴史学習と公民的分野の現代社会の学習の間で学びが途切れる瞬間があるように感じていた。本校で使用している教科書では歴史学習の最後と公民学習の最初にまったく同じ項目名である「持続可能な社

会に向けて」となっている。これは歴史の学びと公民の学びが途切れることなく連動してほしい表れであると考えている。以上のことから、歴史的分野と公民的分野を「現代社会」という視点でつなぐことができるような単元構成を行う。詳しくは「4. 指導と評価の計画」を参照していただきたい。

③AI（人工知能）が経済に与える影響について

現代社会の特色は「グローバル化」「少子高齢化」「情報化」の3つの社会の変化をおさえることが大切である。中でも「情報化」の進展は特に目覚ましく、AI（人工知能）と一般的に呼ばれる技術が急速に発展し、世界を大きく変化させている。今後、機械やロボットが眼をもって、これまでにできなかった多くの仕事をこなせるようになると言われてしている。特に、農業や建設、食品加工といった分野では、機械化・自動化が大きく進み、警備・防犯、医療や介護、また掃除や調理といった家事に関する自動化も大きく進むことが予想されている。このようにAIの発達は、新しい機器や仕事を生み出す一方で、これまで人間の仕事だったものを変えていくとも言われている。AIの発達は私たちの社会や生活にどのような大きな変化を起こすのかということを探ることにより、現代社会が進んでいくであろうこれからの未来社会の姿が浮き彫りになると考えている。本実践では主に「経済の見方・考え方」を働かせて日本の未来社会についての調べ学習を行ったグループの記述内容からAIが経済に与える影響を意識することができる段階に達しているか探りたい。なお、あくまで経済単元の導入につながる学びであると捉えているので「分業と交換」「希少性」といった概念をつかむ記述であっても、この時点では概念の説明に深入りせず、経済単元の学習に入った際に改めてこれがその概念であったと説明したいと考えている。

3. 小単元の目標

- (1) 現代の日本の特色として少子高齢化、情報科、グローバル化などが見られることについて理解を深め、諸資料からその情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。 【知識・技能】
- (2) 位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報科、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【思考・判断・表現】
- (3) 私たちが生きる現代社会について、現代社会にみられる課題の解決を視野にして主体的に追究しようとする態度を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】

4. 指導と評価の計画

時	学習活動	評価の観点			評価規準等
		知	思	態	●学習改善につなげる評価 ◎評定に用いる評価
単元開き	<p>導入の課題 「2025年に行われる大阪万博が目指しているものとは？」</p> <p>【ねらい】 大阪万博に関するさまざまな資料から、現代社会に影響をもたらす具体的な先端技術の存在を通して今後の日本の未来社会のイメージを自分なりに持つ。</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年に行われる大阪万博が目指している「Society5.0 実現型会場イメージ」の中から自分が興味をもった次世代技術について調べる。 ・単元全体の学習を見通す。 			<ul style="list-style-type: none"> ● 現代社会の特色のうち、「グローバル化」「少子高齢化」「情報化」の課題解決につながる次世代技術に関心を高めている。 ◎ 課題解決に向け、学習の見通しを立て、意欲的に学習に取り組もうとしている。 	

<p>単元の学習課題 「すべての人々にとってのいち輝く未来の日本はどのような社会であるべきか」</p> <p>【ねらい】「グローバル化」「少子高齢化」「情報化」などの現代社会の特色を理解し、現代社会が抱える課題を諸資料から多面的・多角的に考察し、その課題を解決した今後の日本社会のよりよい姿をイメージさせる。</p>				
1次 2時間 扱い	<p>第1時 本時の課題：「冷戦終結後の世界はどのように変化し、どのような課題があるのか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 冷戦終結後の世界の課題がどのような特徴をもっているのか国家の関わり方に着目して考察し、年表を活用してまとめる。 	●	●	●冷戦終結後の世界で、国家の枠組みを超えた問題が発生していることに着目して考察し、表現している。
	<p>第2時 本時の課題：「冷戦終結後の日本はどのように変化し、どのような課題をかかえているのか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 冷戦後の日本の出来事の中から、現在でも課題となっていることを記述し、その課題の現状について調べる。 	●		●前時の世界の出来事との関連や公民的分野で学ぶことになる現代社会で生じている課題について理解している。
2次 3時間 扱い	<p>第3時 本時の課題：「グローバル化の進展で、私たちの生活や社会はどのように変化してきているのか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 埼玉県川口市の芝園団地の実態から日本国内でもグローバル化が進展していることを理解し、その内容を作成しているスライドに反映する。 	●		●グローバル化とは生活や社会のどのような変化であるか、資料の読み取りを通して自分たちの追究する視点の内容で理解している。
	<p>第4時 本時の課題：「少子高齢化の進行で、私たちの生活や社会はどのように変化してきているのか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口ピラミッドなどの資料を基に少子高齢化の進展と原因を理解する。 今後の高齢者の増加を仕事の増加や社会のプラスとするための対応策を資料を基に考え、その内容を作成しているスライドに反映する。 	●	●	●高齢化や少子化の原因として考えられることを統計資料の読み取りを通して理解している。 ●少子高齢化への対応策を考える活動を基に、高齢者支援と子育て支援について自分たちの追究する視点で考察し、スライドに分かりやすく表現している。
	<p>第5時 本時の課題：「情報化の進展で、私たちの社会や生活はどのように変化してきているのか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報化の進展で生活や社会が豊かになった点について理解する。 AI（人工知能）が私たちの社会や生活へもたらす変化についてグループで議論し、その成果を作成しているスライドに反映する。 	●	●	●情報化の進展で生活や社会が豊かになった点について理解している。 ●自分たちが追究する視点でAI（人工知能）がもたらすメリットとデメリットに気づき、その成果を作成しているスライドに反映して分かりやすく表現している。
単元 中間 まとめ	<p>第6時 単元中間の学習課題 「調べ学習を通してイメージした『日本の未来社会』の姿を自分なりにまとめよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 地理・歴史・政治・経済のそれぞれの視点で追究した「日本の未来社会」の姿をグループで発表する。 単元の学習課題の解決につながる調べ学習を終えた時点での「日本の未来社会」の姿のイメージをワークシートにまとめる。 		●	●今までの学習を通して地理・歴史・政治・経済のそれぞれの視点で考察してきたことを、スライドを活用して表現している。 ◎今までの自己の学習を振り返り、今後の学びに向けて調整しようとしている。

⇒現代社会の単元はこの後も続きます。（3次・4次・まとめ）ここでは、前半部分を記載しています。

4. 授業の実際 ※授業のイメージがしやすいように「本時の展開」の構成にしています

導入 情報化とは何か？AI（人工知能）とは何か？

初めに本校で使用している教科書に載っているタブレット端末の写真をみて「この写真から未来を感じますか？」と発問をしました。学校でのタブレット端末を使用した授業や回転ずし店でのメニュー注文の写真も周りに配置されていますが、生徒たちは口々に「端末が古い」「当たり前すぎ」という回答でした。つまり、それだけ情報化というものは発展が目覚ましく、日々刻々と新しい考えや技術が開発され世の中を変化させていくスピードが速い分野であることを伝えました。中でも AI（人工知能）は今後の世の中を劇的に変えていくであろうと導入を行い、生徒たちは大いに関心を高めた状態になりました。

その後、ワークシートに掲載した AI についての読み物資料を確認しました。その上で「AI（人工知能）で私たちの社会や生活はどのように変わるか？」という活動を今日は行うことを伝えます。次に大阪万博では次世代技術として「自動翻訳」の実装化を目指していることに触れ、私が持っている自動翻訳機（中国での日本人学校勤務時の最初の時期に助けられました）を代表生徒に使用させ、日本語を中国語に変換させる体験をしました。これも AI が活用されているのだと伝えました。実物教材の登場に、一刻も早く AI について調べたいという顔をしている生徒が出てきたように感じました。

展開1 AI（人工知能）で私たちの社会や生活はどのように変わるか？（各グループの調べ学習）

いよいよ生徒たちはそれぞれの担当のグループでの調べ学習に入ります。AI を切り口に各担当グループでは調べる学習内容がちがいます。地理は「農業」歴史は「寺院」政治は「高齢者介護」経済は「輸送や商業」となります。Google サイトにあげた資料を基にして議論しながらミライシードのオクリンクで送ることになります。以下が各担当の代表事例です。

<それぞれの担当の記述> 左上…地理 右上…歴史 左下…政治 右下…経済

・画像を活用し、スマート農業として栽培管理に役立っている。
・ドローンを導入して遠隔園地の映像データを収集し、日々の生産活動に役立っている。

御朱印にQRコードやNFCを導入した御朱印ならぬ「御朱In」。
御朱印を何百枚も集めていたらお寺や神社を覚えていない場合があるため、QRコードからいつでもそのお寺や神社のサイトにとべる効果がある。

AIを活用した介護ロボットの導入で、高齢者が増えても介護する人が不足してしまうことを防げたり、より精度の高い体調管理ができる

物流拠点でAIを活用することで作業がスムーズになったり、欠品率を下げることができる。またAIが利用者が購入しそうなものを予測することで、買い物時間を短縮することができる。

最初は読み取りが難しい資料に感じたようでしたが、内容の理解ができた生徒が出てくるとグループ内で活発に意見を交わしていました。すべての視点で AI が担当している分野の仕事の中身を劇的に変えていったことが分かるものとなっています。記述した内容はミライシードのオクリンクでクラス内の生徒がすべてを見られるようになっているので、議論の最中に他のグループの資料を確認できるようになっています。自然に協働的な学びが発生するようになっています。

展開2 それぞれの視点で AI（人工知能）について学んだことをスライドに反映させていく

展開1を経て、AI が大きく社会や生活を変えていくことに気づいた生徒たちですが、ここで学んだこ

とを調べ学習で行っている各グループのスライドに反映させていきます。以下が Google サイトの資料を基に各グループのスライドに反映させていった代表事例になります。



Google サイトで自作した HP の資料を活用して作成した地理担当と政治担当のグループのスライドの抜粋です。農業ではドローンの活用に言及し、関連する写真を収集して効果的に配置しています。政治では芝園団地に関係したグローバル化の話において、これから現代社会単元の後半で学ぶ多文化共生の話にまで学びが進んでいるグループが出てきています。ねらっていた現代社会単元を既習の地理・歴史の学習内容と政治・経済の学習内容をつなぐ重要な学びと位置付けることができたと考えています。

5. 授業実践を終えての考察

①経済の視点でスライドを作成したグループの作品から

この資料は「経済の視点から現代社会の授業をつくる」がテーマです。この視点で現代社会の特色を追究した生徒（グループ）にはどのような気づきや学び、変容があったのかを分析していきたいと思えます。以下が経済の視点でスライド作成を行ったものからの抜粋となります。



左のグループの作品は、AI がグローバル化・少子高齢化までを解決する可能性にまで言及しています。現代社会の特色である3つの学習内容をうまくリンクさせてまとめていることを評価しました。右のグループの作品は、大阪万博の導入時に学んだ Society5.0 の話を関連させて新たな価値を生み出すことや

人件費の削減などに言及しています。経済の詳しい学びはしていませんが、どうやらお金が絡む話らしいという思いは生徒にはあるようです。このスライドを作成したグループは「経済の視点ってお金に関係することですよね?」と質問してきましたので、スライドに如実に反映させていました。



実は左のスライドは先ほど質問が出たグループのリーダーが仕上げた内容になります。大阪万博が見ている未来社会の姿の目玉である「空飛ぶクルマ」に大きな興味をもって経済的にそのメリットをまとめてくれました。このような生徒が一人でも多く出てくれること、そしてこの資料を使ってジグソー学習的に発表を行ったので他の人に広げてくれること。今はまだ経済が絡んだ話の程度で終わる学びかもしれませんが、経済の視点に加わることでより学びが深いものへと変わった実感がありました。

②経済の視点でスライドを作成した生徒が単元中間のまとめで記述した内容から

調べただけの学習で終わっていないかを最後に点検することがとても大切になります。単元の間まとめとして調べ学習を終えた時点での「日本の未来社会」の姿のイメージをまとめた内容を全生徒に記述してもらいました。以下が、経済の視点で本単元を追究し続けた生徒の記述内容の抜粋になります。

日本では、2025年に大阪万博が開かれます。大阪万博ではAIなどの最先端技術を発表します。それにより、日本に仕事などを求めて外国人が来ます。そのような人たちをまず労働力とし、経済を活性化させます。その後、活性化した日本に希望を持った高齢者も労働力として、高齢者にしかできない語り手などとして、活躍してもらおう。

少子高齢化が進む中で、働き手が少なくなるその代わりに、AIが発達しAIが産業効率などを上げて行くと思う

大阪万博を単元の導入で扱ったことにより、単元課題である「すべての人々にとってのいち輝く未来の日本はどのような社会であるべきか」を意識して記述している生徒が上の内容だと評価しています。現代社会の学習はどうしても課題を見出すことに終始して暗くなりがちだと思っていました。少しでも明るい展望を持てる単元にしていきたいというこちらの思いが伝わったかなと考えています。下の記述の生徒が自分の担当の視点でまとめあげた回答のB評価規準だと考えています。

6. おわりに

今回のお話をいただいた時からどのような授業にすべきか構想を続け、自作サイトをつくることや大阪万博の目指しているものを単元課題にするなど、だいぶチャレンジしました。多くが手段の工夫でしたが…。生徒のスライドも完璧に仕上がったとはいいいがたいものですが、現代社会単元の重要性と経済の視点に加わることでここまで深い学びへ誘うことができることが伝わったかなとも思います。この機会をいただき本当にありがとうございました。様々なご意見を頂戴し、今後役に立てたいと思います。なお、自作のHPの公開は8月末日までとしたいと思いますので、期限までにご確認ください。

第1章 現代社会と私たち **1・現代社会の特色と私たち**

1・グローバル化ー結び付きを深める世界 (公民P10・11)

テーマ・グローバル化の進展で、私たちの生活や社会はどのように変化してきているのでしょうか。

導入Q 埼玉県川口市の芝園団地の現在の姿

みなさんは同じ埼玉県川口市にある芝園団地を知っていますか？入居者約4400人の半数以上が外国人となっています。URの賃貸住宅なので、月収やビザの条件をクリアすれば外国籍でも入居しやすいそうです。多いのはIT系企業に勤める中国人です。東京駅に西川口駅から約30分で到着する利便性です。現在は古くから住む高齢者の住民外国人住民との共生を考えるべき団地となっています。



芝園団地は多国籍

春日部市にも武里団地があります。同じような状況になりそうな可能性を感じませんか？現在、私たちの身の回りでは人や物、お金や情報などの移動が、国境を越えて地球規模に広がっていく**グローバル化**がますます進んでいます。

～それぞれの担当の見方・考え方で課題に迫っていきましょう (オクリンクでカードを送ります)～

課題 なぜ芝園団地に住む外国人が多くなってきているのだろうか？ (個人)

※サイトに参考資料を掲載しました。ある程度、自分で予想することも必要になってきます。

<カードの色を変えて送ってください>

地理 カードの色…緑色 **歴史** カードの色…青色 **政治** カードの色…紫色 **経済** カードの色…オレンジ

⇒終了後、「グローバル化」について学んだことを反映させながら、引き続きスライド作成を進めよう。

2・少子高齢化ー変わる人口構成と家族 (公民P12・13)

テーマ・少子高齢化の進行で、私たちの社会ではどのようなことが課題となっているのでしょうか。

導入Q 少子高齢社会を迎えて

子どもや老人を支えるのは、収入があり税を納める働く世代である。では、働く人々 (労働力世代) が総人口の中に占める割合は今後ー (増える・減る・ほぼ変わらない)。

・右表の①②に数字を記入して
気づくことは？

	1965年	2012年	2030年
総人口	9827万人	1億2750万人	1億1662万人
労働力世代	4787万人	6513万人	6180万人
総/労 (人)	2.05人	① () 人	② () 人

(厚生労働省試算)

～それぞれの担当の見方・考え方で課題に迫っていきましょう (オクリンクでカードを送ります)～

課題 今後の高齢者の増加を仕事の増加や社会のプラスとするための対策案を考えよう。(グループ)

※サイトに参考資料を掲載しました。ある程度、自分で考えることも必要になってきます。

<カードの色を変えて送ってください>

地理 カードの色…緑色 **歴史** カードの色…青色 **政治** カードの色…紫色 **経済** カードの色…オレンジ

⇒終了後、「少子高齢化」について学んだことを反映させながら、引き続きスライド作成を進めよう。

(地理 ・ 歴史 ・ 政治 ・ 経済) 担当者 ()

MEMO

(地理 ・ 歴史 ・ 政治 ・ 経済) 担当者 ()

MEMO

課題

調べ学習を通してイメージした「日本の未来社会」の姿を自分なりにまとめよう。

自分の担当は (地理 ・ 歴史 ・ 政治 ・ 経済)

※「オクリンク」でまとめて送ってください。上にもまとめたものを写しておいてください。